

# 文化芸術に関する取組について

平成29年10月

内閣府 知的財産戦略推進事務局

# クールジャパン戦略に関する施策

- クールジャパンは、外国人がクールととらえる日本固有の魅力（アニメ、マンガ、ゲーム等のコンテンツ、ファッション、食、伝統文化、デザイン、ロボットや環境技術など）。
- **クールジャパン戦略**は、クールジャパンの、**①情報発信、②海外への商品・サービス展開、③インバウンドの国内消費**の各段階をより**効果的に展開**し、**世界の成長を取り込む**ことで、日本の**経済成長**につなげる**ブランド戦略**。

## クールジャパン戦略の5つの視点

### ① 「デザイン視点」で横串を刺す

クールジャパンに係る各種取組について、商品・サービス等の「機能価値」（品質や性能など）に「感性価値」（意匠や質感など）を加えた設計・編集により横串を刺し、魅力を高める。

### ② 政策・事業を連携させる

クールジャパンに係る取組みを、官民・業種間の垣根を超えて相互に連携させ、点ではなく面として展開させる。

### ③ 人材ハブを構築する

クールジャパン関連分野の人材を世界中から日本に引き付けて創造性を集積・高度化し、情報発信するハブの構築が必要。

### ④ 外国人の視点を取り入れる

クールジャパンの海外への発信・展開にあたり日本ファンの外国人や影響力のある外国人と協働し、外国人の目線で再編集することにより、日本の魅力の受容性を高める。

### ⑤ 地方の魅力をプロデュースする

地域のクールジャパン資源を発掘し、日本全体の魅力として海外に訴求できるよう集積・編集（キュレーション）して海外で受け入れられる「商品」となるようプロデュースする。

事務局：内閣府（知財事務局）

## 官民：クールジャパン官民連携プラットフォーム

- 異業種連携による新たなビジネスプロジェクトの創出を目的として、マッチングフォーラムや、機運醸成のためのセミナーを開催
- メンバー
  - ・ 共同会長（3名）
    - 〔官〕松山 政司 クールジャパン戦略担当大臣
    - 〔民〕川上 量生 カドカワ(株)代表取締役社長
    - 長榮 周作 パナソニック(株)取締役会長
  - ・ 関係府省・政府関係機関（12名・5 機関）
  - ・ 民間団体（45団体）
  - ・ 民間企業・機関・個人（43企業・機関、25名）

クールジャパン  
戦略担当大臣

## アドバイザリーボード

- プラットフォームの運営等について助言
- 「クールジャパン戦略推進会議」（2015年1～6月）の有識者21名

クールジャパン拠点構築検討会(本年5月最終とりまとめ)  
クールジャパン人材育成検討会(本年5月第一次とりまとめ)

## 民：クールジャパンアンバサダー、地域プロデューサー

- **クールジャパン・アンバサダー（現時点：42名）**
  - 発信力ある日本ファンの外国人などをネットワーク化
- **地域プロデューサー（現時点：33名）**
  - 専門知識・ノウハウを持つ人材のリスト化

## 関係府省：

### クールジャパン関係府省連絡・連携会議

- クールジャパン戦略に係る取組のフォローアップ、情報共有等を実施
- クールジャパン戦略担当副大臣（議長）、大臣政務官（副議長）、各省局長級

### 日本産酒類の輸出促進連絡会議

- 日本産酒類の輸出促進に係る取組のフォローアップ、情報共有等を実施
- クールジャパン戦略担当大臣政務官（議長）、各省局長級

総務省：放送コンテンツの海外展開支援等

外務省：在外公館等での日本文化発信等

財務省(国税庁)：日本産酒類の魅力発信等

文科省(文化庁)：文化芸術の振興や海外発信等

農水省：日本食・食文化の普及等

経産省：コンテンツ輸出支援等

国交省(観光庁)：訪日旅行促進に向けた情報発信等

# 「クールジャパン官民連携プラットフォーム」について

クールジャパン戦略を深化させ、官民一体となってクールジャパンに取り組むことを目的として、官民・異業種連携の強化を図る場となる「クールジャパン官民連携プラットフォーム」を設立（H27.12.15）。

## 構成

### (1) 共同会長 (3名)

官：松山 政司 クールジャパン戦略担当大臣  
民：川上 量生 カドカワ(株)代表取締役社長  
長榮 周作 パナソニック(株)取締役会長

### (2) 構成員

- ① 関係府省等 (12名)
  - － 内閣官房副長官、関係府省（内閣（クールジャパン）・総務・外務・財務・文科・農水・経産・国交・環境）の副大臣、内閣(クールジャパン)政務官、札幌事務局長
- ② 関係機関 (5 機関)
  - － 国際交流基金、ジェトロ、中小機構、日本政府観光局、クールジャパン機構
- ③ 民間団体 (45団体)
  - － コンテンツ・食・観光・製造・流通業界等
- ④ 民間企業・機関・個人 (43企業・機関、25名)

### (3) アドバイザリーボード

- プラットフォームの運営等について助言
- 「クールジャパン戦略推進会議」民間有識者21名で構成

## 具体的な活動イメージ

### (1) 総会 (年1 回程度開催)

- プラットフォームの事業及び基本的事項を決定
- 必要に応じて分科会を設置

### (2) マatchingフォーラム (年2 回程度開催)

- 異業種連携によるビジネスプロジェクト創出を推進
- 他のイベント等との連携も推進

### (3) 案件組成の基盤づくり (恒常的活動)

- 定例ワークショップの開催
- ポータルサイトやSNS等を活用した官民の情報交換・共有
- 民間マッチングイベントへの協力



写真：設立総会（H27.12.15）の様

# 「クールジャパンセミナー」 / 「平成28年度 総会」 の開催概要

## ■平成28年度 総会

【日時】 2017年3月10日（金）

【場所】 三田共用会議所

【内容】 ● 共同会長挨拶、政府代表紹介

● beyond2020 文化プログラムの展開について

● プレゼンテーション

「COOL JAPAN PROJECT」について

横山 淳 株式会社三越伊勢丹ホールディングス執行役員 海外事業本部海外企画部長

「ビデオゲーム開発人材の育成」について




松原健二 株式会社セガゲームス常務取締役 / 慶應義塾大学大学院特任教授

● 今期の主な活動報告と来期の活動方針

● 交流会

【参加者】 170名

## ■クールジャパンセミナー

	第1回	第2回
日にち/会場等	H28.9.2（金） / 三田共用会議所	H29.9.13（水） / 三田共用会議所
内容等	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 鶴保庸介 クールジャパン戦略担当大臣挨拶</li> <li>● 宮本亜門氏 講演 「亜門流 ニッポンを演出する -アートとエンタメの化学反応-」</li> <li>● ネットワーキング・名刺交換</li> <li>● クールジャパン推進に向けた政府等の取組紹介</li> </ul>  <p>宮本氏 講演</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 松山政司 クールジャパン戦略担当大臣挨拶</li> <li>● 佐々木宏氏 講演 「リオとCMとニッポンに「トンチとセンス」を。」</li> <li>● ネットワーキング・名刺交換</li> </ul>  <p>松山大臣 挨拶</p>  <p>佐々木氏 講演</p>



# クールジャパン・マッチングフォーラムの開催概要

我が国の魅力あるコンテンツとそれ以外の分野が連携し、一体となって商品・サービスなどの海外展開を進めることを後押しするため、「第1回クールジャパン・マッチングフォーラム」（2月16日）を開催し、異業種連携の先進的なビジネスプロジェクトの表彰【マッチングアワード】、異業種連携によるビジネス組成のための商談会【マッチングメッセ】を実施。

（※異業種連携でビジネス組成を目指す企業関係者等500名超が参加。）

今年度は12月4日に開催。現在、アワード候補及び出展希望企業を募集中。

## ① マッチングアワード

### 【概要】

- 基調講演「世界に売り込むクールジャパンのマーケティング」  
デービット・アトキンソン氏（株）小西美術工藝社社長
- 第1回クールジャパン・マッチングアワード表彰式
- ネットワーキング交流会

### 【内容】

コンテンツ等と他分野が連携した取組事例とその効果を広く社会で共有し、こうした活動を奨励・普及・促進することを目的として、日本の魅力を海外に展開する商品やサービスを生み出す先進的な異業種連携プロジェクトを表彰。

（受賞プロジェクト）※詳細は次項

- グランプリ : 「『KABUKI LION 獅子王』と『超歌舞伎・今昔饗宴 千本桜』における歌舞伎とテクノロジーの融合」
- 準グランプリ : 「佐賀県とオランダとのクリエイティブ産業交流」
- 審査員特別賞 : 「一心堂本舗 デザインフェイスパック」、「攻殻機動隊 REALIZE PROJECT」、「スポGOMI大会の開催」



## ② マッチングメッセ

### 【概要】

- 展示・商談
- 出展者によるステージプレゼンテーション

### 【内容】

コンテンツ等と他分野の有機的連携による新たなビジネスの組成を目指し、20社の出展事業者が、ブースでの展示を行い、ステージにおいてプレゼンテーションを実施。出展事業者と様々な分野の事業者間で、フォーラム開催時間中に、合計94件の商談を実施。

（出展企業）

（株）アサツーディ・ケイ、（株）朝日新聞社、IKEUCHI ORGANIC（株）、（株）うぶすな、（株）エイチ・アイ・エス、SSS合同会社、（株）エンバウンド、（株）KADOKAWA、（株）Caro、局アナnet（株）、（一社）渋谷区観光協会、（株）ジャパンエフエムネットワーク、（株）テレビ東京コミュニケーションズ、東京電装（株）、徳永物産（株）、（一社）日本2.5次元ミュージカル協会、（株）パルコ、（株）響、FUJIN TREE GROUP、（株）UEIソリューションズ



# 「地方版クールジャパン推進会議」について

- 地方におけるクールジャパン資源の発掘・発信を目的として、クールジャパン戦略担当政務が、クールジャパン分野で活躍する有識者とともに、地域における海外展開の成功事例や課題などを交え、地域のさまざまな魅力を一体的に発信していく方策などについて議論。
- 例えば、第9回会議（大分県）では、会議での議論を踏まえ、内閣府協力のもと、「大分県クールジャパン推進イニシアティブ」を策定したほか、第10回会議（沖縄県）では、泡盛の振興に向けたビジネスセミナーを同時開催。

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回
場 所	京都府京都市	愛媛県松山市	石川県加賀市	宮城県仙台市	茨城県つくば市	鳥取県鳥取市
日 時	H25.12.14（土）	H26.3.22（土）	H26.6.7（土）	H26.10.25（土）	H27.3.21（土）	H27.6.20（土）
会 場	宝蔵院書院 	ひめぎんホール 	九谷焼美術館 	仙台国際センター 	サイバーダイナ社 	鳥取砂丘JICA空港国際会館 
視察等	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 京都嵐山花灯路</li> <li>● 京都国際マンガミュージアム</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 今治タオル専門店</li> <li>● 柑橘加工品販売店</li> <li>● 坂の上の雲ミュージアム</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 九谷焼美術館</li> <li>● 鴨池観察館</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 東北工芸製作所</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● いばらきクリエイターズハウス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 鳥取砂丘コナン空港</li> </ul>
	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	
場 所	北海道札幌市	徳島県徳島市	大分県別府市	沖縄県那覇市	和歌山県岩出市	
日 時	H27.8.29（土）	H27.10.11（日）	H28.11.13（日）	H29.3.4（土）	H29.7.15（土）	
会 場	北海道博物館 	徳島グランヴィリオホテル 	立命館アジア太平洋大学 	沖縄都ホテル 	旧和歌山県議会議事堂 	
視察等	<ul style="list-style-type: none"> <li>● (株)西山製麺</li> <li>● 北海道博物館</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● マチ★アソビ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 鉄輪地区</li> <li>● A P U</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 泡盛ビジネスセミナーを同時開催</li> <li>● 沖縄空手会館</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 和歌山大学</li> <li>● 根来寺</li> </ul>	



# クールジャパン発信イベントの開催概要 (@シンガポール)

シンガポールで開催される東南アジア最大級のアニメイベントである「AFA : Anime Festival Asia」※（11月25～27日）を活用し、① アニメの背景にある日本の地方の魅力や先端技術の発信（B2Cイベント）、② 海外企業との協働による日本のコンテンツを活用したビジネス組成を後押し（B2Bイベント）することにより、クールジャパン推進による我が国の経済成長実現を推進。（※ 約100の企業が出展し、3日間で約9万5千人が来場）

## ① B2Cイベント

【日時】 2016年11月25（金）～27日（日）

### 【内容】

#### ◆ AFA来場者向けのステージイベント

鶴保大臣講演、鶴保大臣と高橋智隆氏（ロボットクリエイター）との対談を通じ、アニメを通じた日本の地方の魅力、アニメが先端技術を生み出す創造力の源泉となることをアピール



#### ◆ アニメに関連付いた地方の魅力、先端技術の展示

関係省庁、民間団体等との連携により、アニメを切り口として地方の魅力（アニメ聖地、コンテンツと伝統工芸品とのコラボ商品等）や先端技術（ロボット）をアピール



## ② B2Bイベント

【日時】 2016年11月26日（土）

### 【内容】

#### ◇ ビジネスセミナー

コンテンツを活用したビジネス展開の事例や、日本映画（深夜食堂）の各国でのリメイク事例、AIの発達によるコミュニケーションツールの展望等を紹介。



参加企業：41社（シンガポール企業16社、日本企業25社）  
参加者数：92名  
分野：コンテンツ企業、航空会社、食品会社、  
旅行会社、コンサル、メディア、投資会社 等

#### ◇ レセプション

シンガポール企業と日本企業とのネットワーキングを促進



日本酒造組合中央会、農水省の協力により、日本酒の魅力発信（鏡割り用のお酒、日本酒紹介映像の提供）

# 「クールジャパン海外展開のための国別調査」の概要

- ・ クールジャパン拠点が連携して海外展開を目指す場合に、「国別の消費者の嗜好や市場の特性を踏まえた展開」が重要であることから、今後の海外展開先として重要な5か国について調査。
- ・ 今後、海外展開を検討したり本格化しようと考えている事業者に対する手引書としてとりまとめ（委託先：アクセンチュア株）

## 調査概要

### (1) 調査国・内容、活用対象者

#### ①調査国：

「日本からの輸出額」、「訪日旅行客の支出額」を元に優先すべきタイ、インドネシア、ベトナム、シンガポール、マレーシアの5か国を選定。

#### ②調査内容：

- 各国の基本情報（人口、GDP等の経済状況、メディア、流通等の生活スタイル）
- コンテンツ（映画、放送、配信、マンガ等）及び非コンテンツ（食・外食、日本産酒類、日本製品）の嗜好や市場の調査。

#### ③活用対象者：

- ・ 海外展開を検討段階、進出初期段階で実績やノウハウが十分でない中小企業等。
- ・ 地域産業の海外進出を後押しする地方自治体。

### (2) 調査方法

- ・ 各府省・団体や企業の公表調査、レポート、データ等の関連情報から必要な要素を抽出。
- ・ また嗜好やニーズ等の収集については、現地ヒアリングにて調査を実施。

## その他の情報

### (3) 各国の比較と参考文献リスト

報告書の中から要点を絞り、各国を比較できるように一覧性のあるかたちで取りまとめ。さらに今回の調査・取りまとめで使用した文献・レポート、WEBサイトをリスト化し参照できるもの。

### (4) 活用事例

主な活用対象者である中小企業や地方自治体の具体的な活用例（酒蔵の販路拡大等）をあげて、本調査結果の見方と海外展開方法を参考となるようにしたもの。

### (5) クールジャパンに係る窓口

クールジャパン事業に係る各府省や団体の問い合わせ窓口一覧を記載。これから海外展開を目指す事業者等に向け、政府や関係機関等の相談や支援先の連絡先を明確化し、海外展開の推進につなげるもの。

# 「クールジャパン人材育成検討会」について

- ・本年2月に、内閣府特命担当大臣（クールジャパン戦略）を座長とした「クールジャパン人材育成検討会」を立ち上げ。
- ・本年5月に、クールジャパン関連産業の発展に必要な人材を、以下の①～⑥の6つのカテゴリーに整理し、各カテゴリーごとに、その人材像や、人材の育成・集積のために行っている官民の先進的な取組み、今後の各府省庁の対応の方向性について整理し、第一次とりまとめを実施。

## 各人材カテゴリーごとの主な対応の方向性

- ①プロデュース人材** …… 専門スキルとビジネススキルの両方を有する人材  
→ ・専門職大学等の実践的な仕組みづくりや環境の整備にあたり、関係省庁とも連携しながら、教員の登用や実務家教員の効果的な参画などが産業のニーズを踏まえ、円滑に行われるよう検討。  
・クールジャパン関連産業における、業界団体等によるミドルキャリアに対する教育プログラムの開発・実施等を支援。
- ②高度経営人材** …… 産業の新たな価値の創出や生産性向上を実現する人材  
→ ・教育機関と産業界とが連携した、高度経営人材育成に向けた取組（分野特化型のMBAコース等の設置）を支援。  
・ビジネスの第一線で活躍する実務家の教員としての柔軟な任用などによる教育内容や研究の質の維持・向上を推進。
- ③高度デザイン人材** …… 製品・サービス開発の全体をデザインできる人材  
→ ・高度デザイン人材の育成を目的とした教育カリキュラムの策定を支援。  
・デザイン分野の教育機関同士、さらにはデザインと他分野の教育機関同士の連携・ネットワーク構築や産学連携を支援。
- ④専門人材** …… クリエーター、料理人、デザイナー等専門スキルを有する人材  
→ ・教育機関と業界団体等が連携し、教育機関における産業ニーズに即した人材育成を目指す取組を支援。  
・若手人材の育成のため、映画やアニメといった分野において、若手人材による作品制作・発表の場の提供を推進。
- ⑤外国人材** …… 外国人視点も踏まえ日本と海外でクールジャパンの提供基盤や市場拡大を支える人材  
→ ・クールジャパン関連の高度外国人材が、「高度人材ポイント制」を活用しやすくなるよう検討。  
・高等教育機関卒業後、日本で創作活動を行う外国人が、卒業してから就職活動を行う等の分野の特性により、在留資格の要件を満たすに至る以前に帰国せざるを得ないといった指摘について、実態を調査し、取り得る方策を検討。  
・日本料理以外の食分野においても、調理師養成施設を卒業して調理師免許を取得した留学生が、一定の条件のもと、一定期間の就労を可能とすることについて検討。
- ⑥地域プロデュース人材** …… 地域のクールジャパン資源の発掘・磨き上げを担う人材  
→ ・教育機関等における地域プロデュース人材育成に資するモデルプログラムの確立を検討。

# クールジャパン資源の再生産メカニズムについて（問題提起）

日本社会が今後もクールジャパンを生み出し続け、経済成長の原動力にしていくには、クールジャパンのエッセンスが何かを見出し、クールジャパンが再生産される仕組みを構築することも、長期的に重要であるとの問題意識から議論を深めることが必要ではないか。

（想定される視点）

## 1 クールジャパンのエッセンスは何か（何がどのような外国人をなぜ惹きつけるのか）

（例）

- ・ 緻密さ・きめ細かさ
- ・ 道を究める
- ・ 自然との調和・共生
- ・ 安全性・清潔さ

魅力を高めるコンテキストの提示も重要

→ 合わせて、国や地域等によって、どのような日本文化に訴求力があるかを見極めることも重要ではないか。

## 2 多様性の受容（外国人の長期滞在等）など

各時代の魅力を残すといった重層性、多層性が外国人の長期滞在などの原動力になっている面がある。海外から受容した多様な文化を洗練・発展させてきた歴史を踏まえても、外国人の受け入れを含む多様性の涵養といったマクロの視点も重要。

→ 広く訴求するものに加え、ハイエンドな文化の長期的浸透力にも着目した人材の育成・受入れも必要。

# **「知的財産推進計画2017」 関係施策 (映画・映像産業振興、デジタルアーカイブ)**



# 知的財産戦略本部「映画の振興施策に関する検討会議」

昨年度、知的財産戦略本部の下に「映画の振興施策に関する検討会議」を設置、昨年12月から4回に亘って議論。制作領域への支援強化、海外展開支援の強化、ロケーション支援の強化等を含む報告書を本年3月に取りまとめ。対応の方向性については、本年5日決定した「知的財産推進計画2017」（本年5月16日知財本部決定）に反映。

## 【構成員】

安藤 裕康	独立行政法人国際交流基金理事長
内山 隆	青山学院大学総合文化政策学部教授
大崎 洋	吉本興業(株)代表取締役社長
岡田 裕介	(一社)日本映画製作者連盟会長
角川 歴彦	(株)KADOKAWA取締役会長
亀山 千広	(株)フジテレビジョン代表取締役社長
迫本 淳一	松竹(株)代表取締役社長
椎名 保	(公財)ユニジャパン副理事長
塩田 周三	(株)ポリゴン・ピクチュアズ代表取締役／CEO
島谷 能成	東宝(株)代表取締役社長
多田 憲之	東映(株)代表取締役社長
田中 まこ	特定非営利活動法人ジャパン・フィルムコミッション理事長
(座長) 中村 伊知哉	慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科教授
野間 省伸	(株)講談社代表取締役社長
福原 秀己	(株)エース・プロダクション プロデューサー
升本 喜郎	弁護士、TMI総合法律事務所

## 対応の方向性の概要

### ●制作領域への支援強化・人材育成

「日本映画」の魅力強化し、その基盤を維持するため、中小を含む制作会社やクリエイターの作品作りへの挑戦を支援

(→既存の支援策の改善(年度をまたぐ支援の検討、支援メニューの多様化、申請手続の改善)、特に資金需要の強い企画開発や製作段階にリスクマネーを供給する方策の検討等)

### ●海外展開支援の強化

産業界の海外市場獲得に向けた取組・挑戦を支援

(→国際共同製作を促す基盤整備、最適な資金調達方法の確立を目指した専門家による支援事業等)

### ●ロケーション支援の強化

「日本映画」の魅力の更なる向上、産業のグローバル化を視野に、政府としてロケーションの支援体制を新たに構築

(→「**ロケ撮影の環境改善に関する官民連絡会議**」(次頁)の内閣府への設置、我が国映画産業のグローバル化・人材育成等に資する海外作品の誘致制度の具体化の検討等)

# ロケ撮影の環境改善に関する官民連絡会議について

- ✓ 「知的財産推進計画2017」を踏まえ、本年8月、映像作品全般のロケーション支援の強化を目指し**官民及び有識者を集めた連絡会議を内閣府に設置**。
- ✓ 今後年度内に3回程度開催し、**来年2月中旬に中間取りまとめ**を行う予定。（※次回は、11月中旬の開催を予定）

## ◎ 許認可手続に関する情報共有

- ロケ撮影に関係の深い許認可に係る現行法令の考え方の共有。
- 許認可取得にあたっての優良事例の整理と、ノウハウの共有化。

## ◎ 官民によるロケーション支援のあり方の検討

- 政府・地方自治体、フィルム・コミッション等関係機関によるロケーション支援のあり方（支援フロー、政府統一窓口の設置要否含む）の検討。
- 具体的作品を対象としたロケーション支援の試験的实施・検証を通じた課題の抽出。

## ◎ 海外作品誘致に関する諸課題の整理

- 海外発信機能の強化、海外事業者の受け入れに係る課題の整理、大型作品誘致強化方策のあり方等に関する課題等の整理。

# 連絡会議構成員

## ＜議長＞

内閣府副大臣（知的財産戦略担当）

## ＜副議長＞

内閣府知的財産戦略推進事務局長

## ＜映像製作関係団体・企業＞

石原 隆 フジテレビジョン取締役 編成統括局長  
一井 久司 日本映画テレビプロデューサー協会事務局長  
小畑 良治 角川大映スタジオ 代表取締役社長  
木田 幸紀 日本放送協会専務理事  
新藤 次郎 日本映画製作者協会 代表理事  
武田 功 松竹映像本部 執行役員・映像企画担当  
田中 まこ ジャパン・フィルムコミッション理事長  
千島 守 トムス・エンタテインメント経営企画室広報部長  
沼田 道嗣 全日本テレビ番組製作社連盟 理事

## ＜有識者＞

上住 敬一 ビズ・アドバイザーズ 代表取締役  
内山 隆 青山学院大学総合文化政策学部教授  
荻原 雄二 GT法律事務所 弁護士  
椎名 保 ユニジャパン 副理事長  
中村 伊知哉 慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科教授

## ＜関係府省＞

警察庁、総務省、消防庁、文化庁、経済産業省、外務省、国土交通省、観光庁、東京都

# デジタルアーカイブジャパン(仮称)の構築について

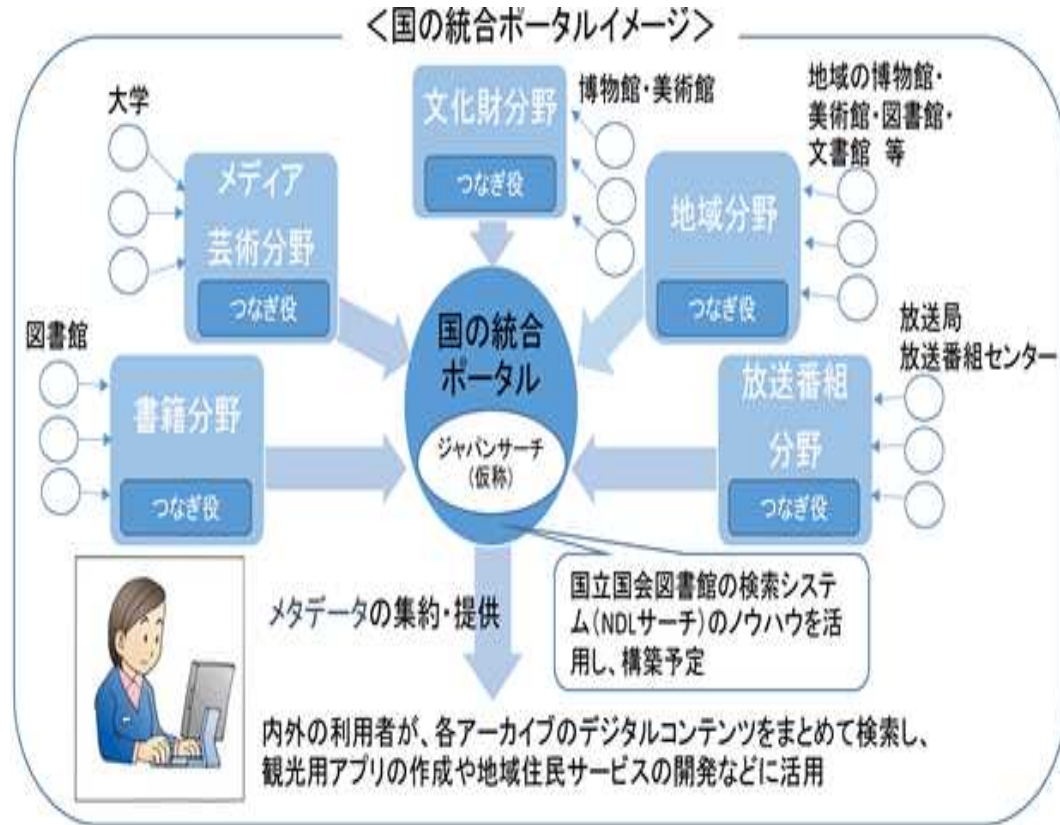
## (現状と課題)

- 長い伝統と豊かな文化を有する我が国の多様な文化的資産を次世代に継承するため、書籍、文化財等分野ごとのデジタルアーカイブ構築が進められている。
- 今後、これらの資産へのアクセスを容易にし、デジタル時代に対応した新たな知的資産生産の基盤を形成するため、それぞれのアーカイブの充実のみならず、分野を横断した文化的資産の蓄積・活用を可能とするアーカイブ間連携を進め、目録・所在等情報(メタデータ)の整備・公開やデジタルコンテンツの提供に取り組む必要。
- 分野・地域を超えて日本の知を集約、検索できるデジタルアーカイブの構築により、学術研究、教育、防災、観光ビジネスや映像、出版等のコンテンツビジネスなどにおける知的資産の利活用の取り組みを活性化し、加えて海外発信機能の強化を通じて、インバウンドの促進や海外における日本研究の深化にも活用することが可能。



## (今後の方向性)

- 「各アーカイブ機関」は、ガイドラインに沿ったメタデータの整備、オープン化などの取組を推進。
- 「つなぎ役」は、分野内のメタデータ項目の標準化やアーカイブ機関の技術、法務上の課題等に対応できる人材育成をサポート。
- 「国」は、分野横断統合ポータルの構築を推進するほか、国・独立行政法人の有する書籍・文化財等文化的資産・メディア芸術・公文書のメタデータの整備やデジタル化を進めるとともに、各アーカイブ機関やつなぎ役の取組への支援について検討。





# デジタルアーカイブジャパン推進委員会及び実務者検討委員会

- 「知的財産推進計画2017」に基づき、デジタルアーカイブの構築やアーカイブの利活用促進に向けた連携を強化するため、関係省庁等による推進委員会及び学識経験者やアーカイブ機関による実務者検討委員会を設置する。

## デジタルアーカイブジャパン推進委員会

- ・工程表の策定
- ・実務者検討委員会で検討すべき事項の決定

議長：内閣府副大臣（知的財産戦略担当）  
議長代理：内閣府知的財産戦略推進事務局長  
副議長：文化庁次長  
幹事役：国立国会図書館総務部長  
構成員：内閣官房情報通信技術（IT）総合戦略室室長代理  
内閣官房明治150年関連施策推進室長  
総務省情報流通行政局長  
文部科学省生涯学習政策局長  
経済産業省商務情報政策局長  
観光庁次長  
独立行政法人国立公文書館理事  
独立行政法人国立科学博物館理事  
独立行政法人国立美術館理事  
独立行政法人国立文化財機構理事  
オブザーバー：日本放送協会知財センター長  
公益財団法人放送番組センター専務理事

開催予定（本年度2回程度を予定）

第1回：9月5日、第2回：来年2月～4月

## 実務者検討委員会

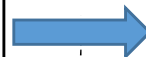
- （検討事項）
- ・活用促進に係る課題、活用促進策の検討
  - ・人材育成のための施策の検討
  - ・標準メタデータフォーマットの検討

座長：国立情報学研究所 高野明彦教授  
構成員：東京大学大学院情報学環 生貝直人客員准教授  
秋田県図書館協会 山崎博樹氏  
筑波大学図書館情報メディア系 杉本重雄教授  
首都大学東京システムデザイン学部 渡邊英徳准教授  
国立国会図書館、内閣府知財事務局、文化庁、  
（独）国立公文書館、（独）国立科学博物館、（独）国立  
美術館、（独）国立文化財機構、（共）人間文化研究機  
構、（共）情報・システム研究機構、NHK、放送番組セ  
ンター  
オブザーバー：内閣官房情報通信技術（IT）総合戦略室、内閣官房  
明治150年関連施策推進室、内閣府大臣官房公文書管  
理課、総務省、文部科学省、文化庁、経済産業省、  
観光庁

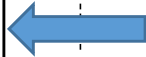
開催予定（本年度三回程度を予定）

第1回：10月10日、第2回：11月～12月、第3回：来年1月～2月

検討要請



報告





# デジタルアーカイブジャパン構築への段階別整理

## フェーズ1

2019年度末

## フェーズ2

2020年度以降

## フェーズ3

NDLサーチと主要デジタルアーカイブとの連携展開・産学官フォーラムの立ち上げ

ジャパンサーチ(仮称)構築・国のコンテンツの利活用基盤の整備

公私立のアーカイブ機関のコンテンツデジタル化・メタデータ整備及び共有化を推進

メタデータ

- ・国・独法において、ガイドラインに沿って書籍、文化財等文化的資産、メディア芸術、公文書に関するメタデータを整備・公開。併せてデジタルコンテンツの利用条件も表示
- ・つなぎ役による分野・地域ごとのメタデータ集約の在り方を検討
- ・各アーカイブ機関におけるガイドラインに沿ったメタデータの整備・公開の推進

- ・ジャパンサーチ(仮称)へのメタデータ集約

- ・公私立のアーカイブ機関との連携を進める上での課題の洗い出しと対応策の検討

コンテンツ

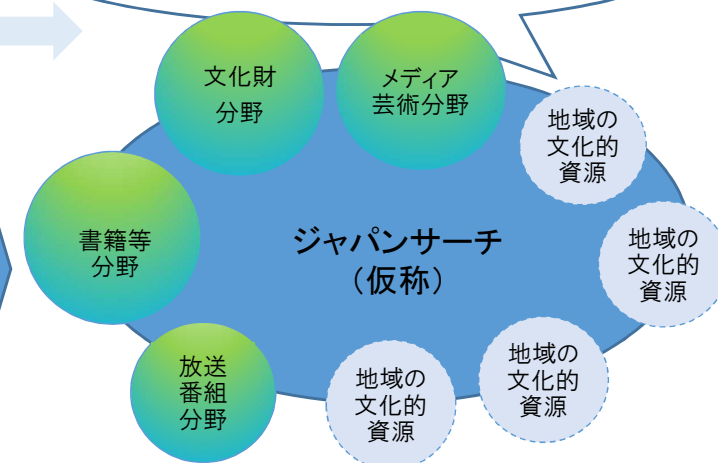
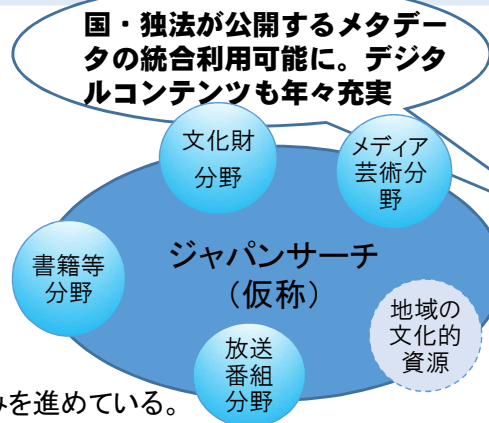
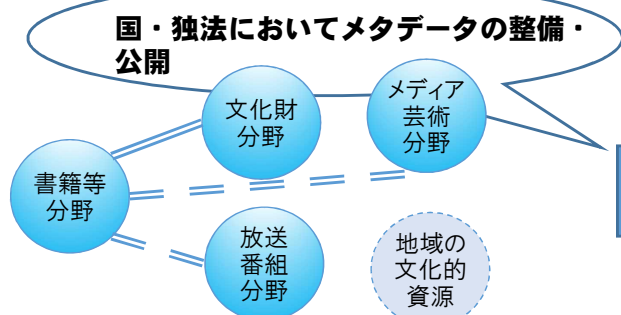
- ・国・独法においてコンテンツのデジタル化、デジタルコンテンツの利用条件を表示
- ・各アーカイブ機関におけるコンテンツのデジタル化の推進

- ・デジタルコンテンツの活用促進

その他

- ・関係者を広く集めた産学官フォーラムの開催(工程表の作成・共有と連携促進に向けた協議)

様々なアーカイブ機関とつなぎ役との接続ルールを整備し、地域・分野ごとのメタデータ充実へ



※放送番組分野では、NHK及び放送番組センターが取り組みを進めている。

# 日本コンテンツの主なアーカイブの現状

アーカイブ化のステージ	現物の収集・保存	現物資料情報のDB化	資料のデジタル化	資料のネット利用
ゲーム	<p><b>立命館大学ゲーム研究センター</b> 資料数：5,181点</p> <p><b>米沢嘉博記念図書館</b> (明治大学) 資料数：約14万点(マンガ)等</p> <p><b>京都国際マンガミュージアム</b> (京都市、京都精華大学) 資料数：約30万点(マンガ)</p>	<p><b>文化庁</b> 「メディア芸術データベース(開発版)」資料情報数(ゲーム) 約3.8万タイトル (マンガ) 単行本約26.9万冊、雑誌約14.6万冊 (アニメーション) 約1万タイトル</p>		
マンガアニメ				
出版物等	<p><b>国立国会図書館</b> ※納本制度等 資料数：約1080万点(図書) 約1700万点(逐次刊行物) 約1410万点(非図書資料)</p>	<p><b>国立国会図書館</b> 「国立国会図書館サーチ」 資料情報数：約1.2億件(書籍) ※各地の図書館等との横断・統合検索</p>	<p><b>国立国会図書館</b> 約262万点(合計) 約9万点(古典籍) 約123.5万点(雑誌) 約97万点(図書) 約14万点(博士論文) 約5万点(音楽・演説)</p> <p>「国立国会図書館デジタルコレクション」 インターネット公開 約50万点 図書館への送信 約149万点</p>	
放送番組	<p><b>(公財)放送番組センター</b> 資料数：約2.7万本(放送番組)</p>	<p><b>JACC/JAPACON</b> (海外向けコンテンツ情報ポータル) ※TV番組、アニメ、映画等の書誌的情報を発信</p>	<p><b>(公財)放送番組センター</b> 約2.7万本(放送番組)</p> <p><b>NHK「NHKアーカイブス」</b> 資料数：約91万本(放送番組) 約698万件(ニュース映像)</p>	<p>※ 公共施設へのサテライト・ライブラリーの展開、大学での教育利用を実施 ※ 一部番組について有料でネット配信(NHKオンデマンド)</p>
映画	<p><b>(独)国立美術館</b> (東京国立近代美術館フィルムセンター) 資料数：約7.8万本(フィルム) 約70.1万点(スチル写真) 約5.7万点(ポスター)</p>	<p><b>文化庁</b> 「日本映画情報システム」 資料情報数 46,497件(映倫審査作品)</p>	<p><b>(独)国立美術館</b> (東京国立近代美術館フィルムセンター) 約3,400本(デジタル映画作品)</p>	
文化財	<p><b>(独)国立文化財機構(国立博物館)</b> 資料数：約13.9万点(収蔵+寄託)</p> <p><b>(独)国立美術館</b> 資料数：約4.2万点(美術作品)</p>	<p><b>文化庁「文化遺産オンライン」</b> 国指定文化財、地方公共団体、全国の博物館・美術館提供の文化遺産等の情報</p>	<p><b>(独)国立文化財機構(国立博物館)</b> 「e-国宝」 1057点(高精細国宝・重要文化財件数)</p> <p><b>(独)国立美術館</b> テキストデータ 約4.5万点(うち公開数：約3.9万件) 「所蔵作品総合目録検索システム」 画像データ 約3.7万点(うち公開数：約1.5万件)</p>	
自然科学	<p><b>(独)国立科学博物館</b> 資料数：約452万点超</p>	<p><b>(独)国立科学博物館</b> 資料数：約224万点</p>	<p><b>(独)国立科学博物館</b> テキストデータ約224万点(内画像データ有約47万点)</p>	
公文書等	<p><b>(独)国立公文書館</b> 資料数：約142万冊</p>	<p><b>(独)国立公文書館(横断検索)</b> 12館との横断検索</p>	<p><b>(独)国立公文書館</b> 「国立公文書館デジタルアーカイブ」 約21.4万冊(行政文書等：11.5万冊、古書・古文書：9.9万冊)</p>	

注：赤色で囲まれたものは国の機関、緑色で囲まれたものは国以外の機関を示している。また、図中左上の青色の網掛け部分は、国立国会図書館の資料収集範囲である国立科学博物館においては、資料としての整理がなされた時点でデジタル化を行うため右の資料点数となっている。